

令和5年12月定例記者会見要旨(令和5年11月29日)

1. 2024年度当初予算案の編成が進んでいる。「コロナ後」を見据え、重視している点や事業などについて考えをお聞きしたい。

現在予算編成作業の最中であり、詳細をお示しできる段階ではありません。

本年、令和5年度では新型コロナウイルス感染症に伴う影響や物価高騰に対応するため、国の交付金を活用し低所得者世帯や子育て世帯への支援を実施してきたところです。

新年度予算編成にあたっては、本市の最重要プロジェクトである「駅周辺及び緩衝緑地の再整備」の進捗とともに、「住みたいまち」として選ばれるまちづくりの重要な1年になるものと捉えています。したがって、これら予算への着実な反映のためには、国・県補助金の積極的な活用や経営資源の効率的・効果的な配分など、引き続き持続可能な財政運営に留意し、健全財政を堅持していかなければなりません。

さらには今後、学校再編整備や火葬場の更新など大型事業を控えるとともに、公共施設の老朽化対策をはじめ、デジタル化の推進やゼロカーボンシティの実現に向けた施策も展開していく必要があります。

将来にわたる確実な執行を担保していくためにも、積極果敢に取り組む姿勢を示す予算編成になっていくものと認識しています。

2. 自衛隊などの利用を想定して政府が指定する「特定重要拠点空港・港湾」の候補地に高松港が選ばれた。有事の際、隣接する坂出への影響も考えられる。指定に備え、国や県などへの要望をお聞きしたい。

ご質問の内容について、先般、地元紙において報道がなされたところですが、現時点で、本市に対し、国・県から、「特定重要拠点空港・港湾」に関する協議の依頼、情報提供はありません。

また、その後の知事記者会見において、「具体的にどこの港なのかということについての話はなく、県としては、その具体的なものが今後出てくれば、この制度の内容を改めて確認した上で、できる協力はしていきたいと考えている。」とご発言されているとおり、詳細については明らかにはされていない状況です。

一方で、今後、候補施設や具体的な利用方法等が明らかにされた場合には、国・県に制度内容や本市への影響等について説明を求めてまいりたいと考えています。